

コンテンツ分野における諸外国への 展開状況及び今後の取組について

平成19年11月30日

ICT国際競争力懇談会 提言

(2) 著作権処理等に係る情報基盤の整備

① 放送コンテンツ自体の競争力を向上させる観点から見れば、

(i) 諸権利の分散 (ii) 契約交渉窓口の分散 (iii) IP等新たなメディアに関する権利の未処理

等は、早急に解決すべき課題である。海外のコンテンツ販売関係者からも、我が国の放送コンテンツの抱える課題として指摘されている。

② 上記の解決には、放送コンテンツに係る権利や交渉窓口に関する情報を収集・集約し、当該コンテンツの購入を希望する者や、コンテンツの海外展開を手がける者に対して広く公開し、利活用を円滑化する仕組みが必要である。

(3) 海外における新たなネットワークの開拓

② 海外における放送チャネルの開拓

(イ) 日本の文化や自然等に関する情報を発信し、海外からの理解を高めるためには、海外における放送コンテンツの視聴ターゲットとして最適で、いわば「ジャパン・コンテンツの露出ウィンドー」なるチャネルの時間枠を確保し、当該チャネルに日本の放送コンテンツを供給することは、有効な手法の一つと考えられる。



現在の取組み状況

◆情報通信審議会へ諮問

『「コンテンツ競争力強化のための法制度」の在り方』について、情報通信審議会に諮問(平成19年6月)し、現在「デジタル・コンテンツ流通の促進等に関する検討委員会」にて検討中。

◆「国際ドラマフェスティバル」の開催

日本のドラマの海外発信機会の拡大、国際競争力の向上を目的として、本年、第1回を開催。(平成19年10月12日・13日)

「JAPAN HOUR」

・1991年12月からシンガポールSBCの地上波放送で放送開始。現在はCNAで放送。

(放送時間:土曜19:30~ 日曜8:00~,13:00~)

・住友商事がオーガナイザー、NEC、日本経済新聞社等日本企業がスポンサー。

・日本の文化・旅・食を紹介し好評。

・2007年11月より衛星放送でも実施し、放送地域をアジア・オセアニア21カ国・地域へ拡大予定(100万世帯→1500万世帯へ)

SBC: Singapore Broadcasting Corporation
CAN: Channel News Asia

ICT国際競争力会議デジタル放送分科会(テーマ:コンテンツ)において、我が国における放送コンテンツマーケットの開催等について検討中。

「国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2007」について

- 日本のドラマの海外発信機会の拡大、国際競争力の向上を目的として、本年、第1回開催。[10月12日・13日]
- 民放連、民放キー局、NHK、映画事業者等で構成される「国際ドラマフェスティバル実行委員会」が主催。総務省も共催。
- 韓国、中国及びタイ及び日本の、各国内で表彰等されたドラマ作品の制作者・出演者を招待し、顕彰。各国において高い評価を受けた作品を一堂に集め、多数の人に見てもらおう場とする。
- 今後は、本フェスティバルのプレゼンスを向上させ、アジアにおけるテレビドラマフェスティバルの中心的な存在として世界的な認知を得ることにより、コンテンツマーケットとしての役割も果たせる形を目指す。



○内容

10月12日(金)

○開会式典(招待作品の紹介等)

民放連会長、NHK会長、総務副大臣、経済産業副大臣等出席

10月13日(土)

○招待作品上映会

韓国・中国・タイから、それぞれ国内のドラマコンテスト等で表彰された作品(各1作品)を招待し、国内からは、昨年度放映されたドラマの中から民放キー局各局の代表的な番組(各1作品)を招待し、サマリー上映・解説

○シンポジウム

「日本及びアジア作品を世界で飛躍させるために、今、何が求められるか」パネリスト(韓国、中国、日本の製作者の代表等)による海外展開や共同制作の在り方等についての意見交換

○主催 国際ドラマフェスティバル実行委員会

委員長:重村ニッポン放送会長

構成団体:日本民間放送連盟

日本テレビ放送網、東京放送、
フジテレビジョン、テレビ朝日、テレビ東京

日本放送協会

WOWOW

日本映画製作者連盟

松竹、東宝、東映、角川映画

全日本テレビ番組製作社連盟

衛星放送協会

映像産業振興機構(VIPO)

日本映画テレビプロデューサー協会

等

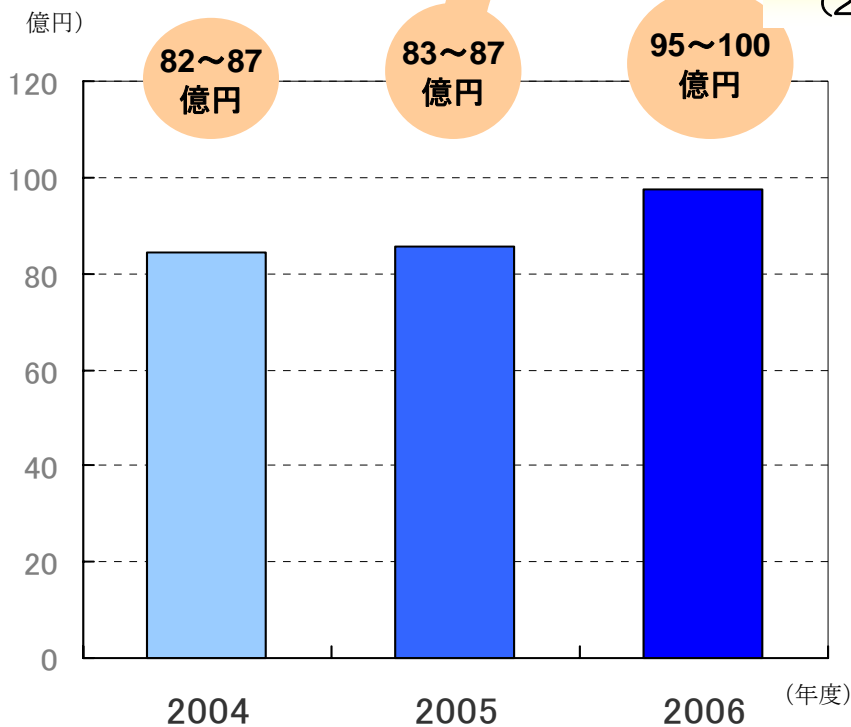
○共催 総務省 経済産業省

○協賛 スカイパーフェクト・コミュニケーションズ

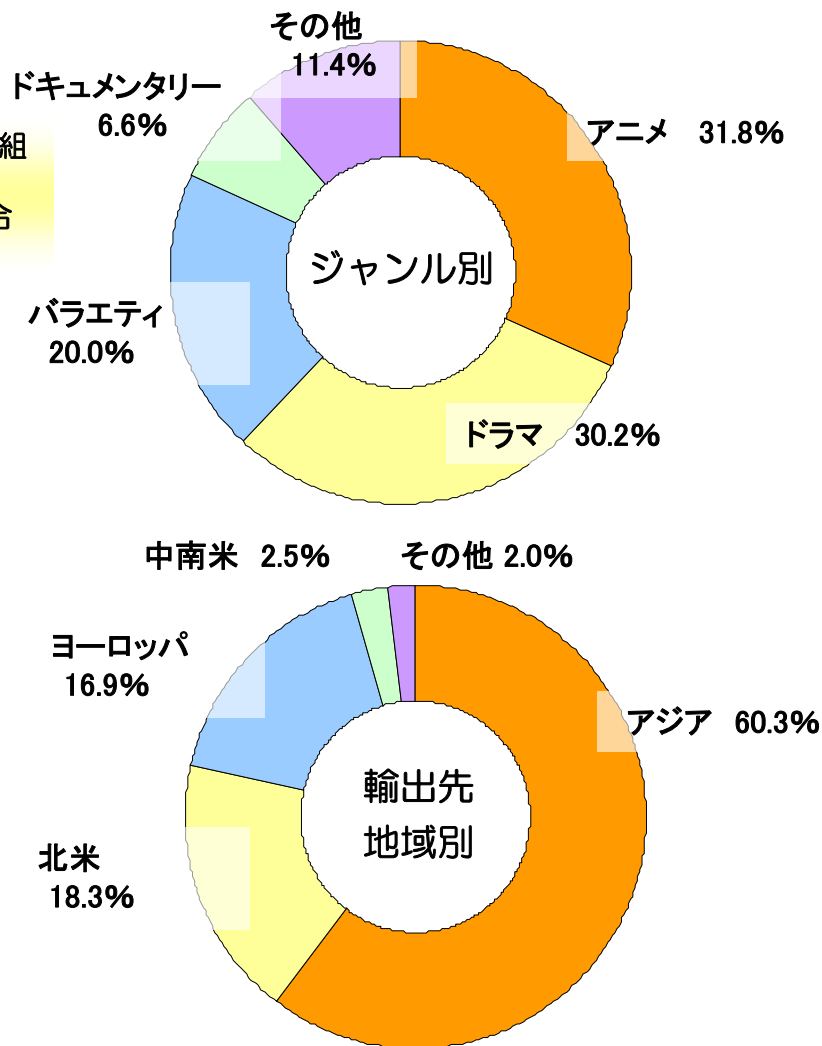
放送番組の輸出の状況

- 最も多い輸出先はアジアで、6割を占める。輸出の多い番組ジャンルは、アニメ、ドラマ、バラエティ。
- 地上テレビ番組の輸出金額(2006年度推計)は、100億円近くになる見込み。

地上テレビ番組の輸出金額
(推計値)










地上テレビ番組
の輸出金額
に占める割合
(2005年)



(地上テレビ局やプロダクションへのアンケート及びインタビュー調査の結果等をもとに推計)
<「メディア・ソフトの制作及び流通の実態調査」(総務省情報通信政策研究所)により作成>

海外で開催される国際番組見本市

国	米国	フランス		中国		香港	韓国	シンガポール	(参考) 日本	
名称	NATPE 	MIPTV 	MIPCOM 	China International Film and TV Programs Exhibition China Radio Film & Television International Exposition	Shanghai International Film and TV Market (上海テレビ祭と併催)	Hong Kong International Film and TV Market (FILMART) 	BCWW (Broadcast Worldwide) 	ATF(AsiaTV Forum) 	TIFFCO M 	東京国際アニメフェア (TAF)
期間等	07年 1月15-18日 ／ラスベガス	毎年春に開催 07年4月16-20日 ／カンヌ	毎年秋に開催 07年10月8-12日 ／カンヌ	03年から開催 06年8月24日 ／北京	86年から開催 07年6月11-15日 ／上海	06年3月20-23日 ／香港	01年より開催 07年8月29-31日 ／ソウル	07年 11月28-30日 ／シンガポール	07年 10月22-24日 ／東京	07年 3月22-25日 ／東京
開催実績	参加者約8,000人 (76カ国) 出展企業350社 バイヤー1,500人 (07年実績)	参加者13,311人 参加企業4,532社 (06年104カ国) バイヤー3,816人 (07年実績)	参加者13,371人 参加企業4,585社 (06年98カ国) バイヤー4,242人 取引高: 約40億ユーロ (07年実績)	出展企業約721社 出展作品1,274 取引高: 9.36億元(約140億円) (06年実績)	参加者1,128人 参加企業194社 (16カ国) バイヤー375人 取引高: 約9億元 (06年実績(取引高は05年実績))	参加企業453社 (30カ国) バイヤー4,094人 (50カ国) (07年実績)	参加者: 5,000人 (38カ国) 出展企業158社 バイヤー1500人 取引高: 1700万ドル (06年実績)	出展企業121社 バイヤー3,500人 (41カ国) 取引高: 4,700万ドル (06年実績(バイヤー数については04年))	参加者3,505人 (40カ国) 出展企業172社 (07年実績)	参加者107,713人 出展企業270社 海外バイヤー942人 (07年実績)
主催者等	全米テレビ製作者連盟 (NATPE =National Association of Television Program Executives)	Reed MIDEM	Reed MIDEM	国家広播電影電視総局 (SARFT) 中国広播電影電視集団	国家広播電影電視総局 (SARFT) 上海市人民政府	香港貿易發展局	(主催) 韓国文化観光部 韓国放送委員会 (主管) 国際放送交流財団 韓国放送産業振興院	Reed Exhibitions (Reed MIDEMのグループ会社) Television Asia *「アジア・メディアフェスティバル」(シンガポール政府メディア開発局・Reed社主催)内イベントとして開催	経済産業省 日本映像振興(株)	東京国際アニメフェア実行委員会、東京都他